

カリキュラム

機構施設名： 秋田職業能力開発促進センター
 実施機関名： 株式会社日本能率協会コンサルティング

B. 生涯キャリア形成	役割の変化への対応	チーム力の強化と中堅・ベテラン従業員の役割
-------------	-----------	-----------------------

コースのねらい	中堅・ベテラン従業員が求められる今後の役割や能力を確認し、職場の課題に対してこれまでの経験に基づき後輩従業員と共同で解決策を得るための知識と技能を習得する。
---------	--

「基本項目」		「主な内容」	訓練時間 (H)
講義内容	1 職場の課題	(1)現状の課題を洗い出す【演習あり】 中堅・ベテラン社員として、自らの職場の現状を振り返り、どんな課題があるのかをポストイットに書いて出し合い、模造紙に貼り付け分類して見える化する。参加者同士業種は違っても同じ課題をもっていることで仲間意識を生み出し、安心して研修に取り組める場をつくる。次項以降の講義への関心を高め、自分事として積極的に取り組む姿勢を引き出す。	1.0
	2 求められる役割と能力	(1)変化の時代に求められる役割と能力【ミニ演習あり】 先が見えない不安と変化の時代に、現場と管理者の架け橋となり、チーム力を高めるポイントをセルフチェックし、自分の振る舞いを振り返る。 (2)心理的に安全な職場づくり 若手・メンバーの離職やメンタルダウンを防ぎ、誰もが安心して意見を言えてのびのびと活躍できる生産性の高い職場(「心理的安全性の高い」職場)の重要性を理解する。	1.5
	3 アサーティブの基本	(1)「心理的安全性の高い職場」をつくるアサーション アサーションが相互尊重(自分も部下・メンバーも尊重)し、2WAYで対話するコミュニケーションであること、「心理的安全性」を生み出すことを理解する。 (2)自分のコミュニケーション・タイプを知る【演習あり】 セルフチェックによって、非主張型、攻撃型、アサーティブ型(アサーション)の傾向に気づき、自ら変化することが必要だとの気づきを生み出す。	0.5
	4 アサーティブな関係構築	(1)アサーティブなコミュニケーションの土台:話を聴く(傾聴)スキル【演習あり】 講師の実演により「傾聴」のもつ影響力を目の当たりにし、受講生同士の実習では「話をちゃんと聴けない」自分に気づき、改善を目指す。 (2)若手・メンバーの自信・意欲を育てる(承認)スキル【演習あり】 日々の勤務に感謝し、言動や成果や個性など相手の「強み」「良さ」を日々の勤務に感謝し、言動や成果や個性など相手の「強み」「良さ」を積極的に言葉で認めほめることで、自信を育て挑戦・やる気を育む訓練。 (3)相手の行動を変える話し方(フィードバック)のコツを学ぶ (4)研修の振り返りと行動宣言 研修の学びを実践につなげる【演習あり】 ・研修での学びと明日から職場で実際に「何を変えていくか」を全員が発表する。全員の前で宣言することで、実践への意欲を高める。	3.0

※進行状況により、所要時間等は若干変動することがございますので、予めご了承願います。	合計時間	6.0
--	------	-----